

④ 公表特許公報 (A)

昭63-500609

④公表 昭和63年(1988)3月3日

④Int.Cl. 4	識別記号	序内整理番号	審査請求	未請求	予備審査請求	未請求	部門(区分)	5 (2)
F 16 H 25/20 B 60 N 1/08		E-7617-3J Z-7332-3B						

(全 14 頁)

④発明の名称 换素とくに自動車の座席又は座席の部分のベースに対する定位を制御する装置

④特 願 昭61-502246 ④開封文提出日 昭61(1986)12月18日

④出 願 昭61(1986)4月14日 ④国際PCT/FR86/00122

④国際公開番号 WO86/00036

④国際公開日 昭61(1986)10月23日

優先権主張 ④1985年4月18日 ④フランス(FR) ④65/05879

④発明者 アムラン, ルネ・ルイ フランス国ジフ・シユール・イヴェット91190, リュ・ド・ラ・ガムボーリー 22番

④発明者 ワティエ, モーリス フランス国シソネ92150, ディズイ・ル・グロ、リニー・ヴエルト(番地なし)

④出願人 エキブマン, オートモビル、マ フランス国イッシュ・レ・ムーラノー92132, リュ・ギヌメ 26番ルシヤル

④代理人 弁理士 中島 宣彦 外2名

④指定国 DE(広域特許), FR(広域特許), GB(広域特許), IT(広域特許), JP, SE(広域特許), US

特許請求の範囲

1. 電動機船と、この船の一端部に設けられ、この船の方向に直交する船縫を持つナット曲車を駆動することのできるクオーム又は同等の機品とを持つ電動機を備え、前記クオーム又は同等の機品と船縫を持つ電動機を備え、前記クオームと前記ナット曲車とから成る単位体により前述装置の一部を形成すると共に、前記ナット曲車のナットにねじ又はその類似部材を駆動させた、ベースに対する位置の定位を制御する定位制御装置において、前記定位装置及び、互いに直交して交差する2個の円筒形のスリーブ(30a), (31a)から成るスチーラップ(26a)を設け、前記スリーブの内部空間を、その交差部に對応する穴を介して互いに通連させ、前記スリーブのうちの一方のスリーブ(30a)がナット曲車(9a)を受入れるとが可能、そして他方のスリーブに差しめると共にしたる船縫の円筒形の前記スリーブの交差部に對応する座(32a)を形成され電動機側のケーシング側に設置した前記(10a)内にクオーム(8a)を収容するとことにより、前記定位装置の組立てのため前記船(10a)の電動機船縫を前記スチーラップ(26a)の他方のスリーブ(31a)内に差し込み、前記座(32a)が前記スリーブ(31a)内に差し込まれると共に、前記クオーム(8a)のねじ山が、前記座(32a)を貫いて突出して前記一方のスリーブ(30a)内に差し込まれた前記ナット曲車(9a)にかみあうようにし、前記一方のスリーブ(30a)を、前記ねじ(12a)を過すための穴(29a)をそれぞれ形成した2枚の環板(27a), (28a)の間に取付けたことを特徴とする定位制御装置。

2. 前項内に相互通に開閉を有した互いに平行を行を2個の案内部材により案内される環板に対し、電動機(10)を2個の案内部材(44), (45)間に配置し、前記電動機(10)、前記各案内部材にはばく張する内側にした2個の出力軸(7a), (7b)を設け、前記電動機(10)を、一方の案内部材(44)の方に前方の案内部材に對するより一段近く位置させ、前記電動機(10)と前記互いの案内部材(44)との間に位置する、長さの近い方の穴(16a)を、前記電動機のケーリング(16)と一併にしたことを特徴とする請求の範囲第1項記載の定位装置。

3. 前記スチーラップのスリーブ(30a)を間に取付けた前記スチーラップ(27a), (28a)が、定位させようとする環板(10)及びベース田から成る2部品の一方が固定され二部品の8の側面であり、この二部品の前記各内板に、前記ねじ(12a)を過すための穴(29a)を形成したことを特徴とする請求の範囲第1項又は第2項記載の定位装置。

4. 前記スリーブ(30a)の各端部において前記ナット曲車(9a)にかみあかすかみ作用を伴つてカップ(35a)をはめ、前記カップが前記ナット曲車(9a)Cに対する船縫として作用するようにして請求の範囲第1項記載の定位装置。

5. 各カップ(35a)に、円筒形のナット部分(35b)を設け、このナット部分の内縫部が前記船(10a)の底(32a)の縫部の最も近い区域mを覆うように、前記ナット部分の軸方向長さを定めたことを特徴とする請求の範囲第1項記載の定位装置。

特表明63-500609 (2)

位制御装置。

6. 前記ナット部革 (9a) を、延長のプラスチック材料で作るが、前記カップ (35a) は金属質にしたことを特徴とする請求の範囲第4項又は第5項記載の位制御装置。

7. 船と、この船の一端部に設けられ、この船の方向に直交する船舷を持つナット部革を駆動することのできるタオーム又は同等の部品とを持ち、ベースに連結した曳動部を備え、前記ナット部革のナットにねじ又はその類似部材を駆動させ、このねじ又はその船舷のまわりに回転をいよいよに保持し、位差させようとすると枢部に連結し、こちらに位差を案内する手袋を前記ベースと前記枢部との間に設けた、とくに請求の範囲第1項ないし第5項のいずれかに記載の、ベースに対する枢部の位差を割得する位制御装置ににおいて、前記ナット部革 (9a), (9b), (109a) のナット (11a), (11b), (111a)、ねじ込み孔によりしたねじ (12a), (12b), (12c) 又は同等の部品を位差させようとすると枢部 (3a), (3b) に、駆動部 (7a), (7b), (107a) にほど平行な方向Dに少くとも沿つて位差できるよう取付けたことを特徴とする位制御装置。

8. 前記駆動部 (5), (105) と前記タオーム (8a), (8b), (109a) との間に延びる駆動部の部分 (7a), (7b), (107a) が、剛性であり、一定の長さを持つことを特徴とする請求の範囲第7項記載の位制御装置。

9. ねじを実心方向に平行な向きにし、直線方向に沿い前記案内部材により案内される枢部の並差位差を割得する請求

本の範囲第7項又は第8項に記載の位制御装置において前記ねじ (12a), (12b) を、前記ねじの船舷の方向にはば直交する方向にねじ自身に平行に移動できるようにより第1項、(3a), (3b) に取付けたことを特徴とする位制御装置。

10. 前記ねじ (12a), (12b) を、このねじに平行であるがこのねじから間隔を保つた程方向船舷のまわりの角度たむきの余地を残して前記案内部材の部分 (3a), (3b) に取付けたフック (13a), (13b) に一体化したこととを特徴とする請求の範囲第9項記載の位制御装置。

11. 前方向に直角に間隔を保つた程方向にはば平行な2個の案内部材 (4a), (4b) により案内される枢部に對し、この枢部 (4)、前記案内部材に係属するスライド (3a), (3b) を設けた複数の範囲第9項又は第10項記載の位制御装置において、前記駆動部 (5) を前記2個の案内部材 (4a), (4b) の間に配し、前記駆動部に、前記案内部材にはば直交する向きにし2個の出力軸 (7a), (7b) を設け、前記枢部に連結したねじ (12a), (12b) を、前記各スライド (3a), (3b) に駆動させると共に、対応する船舷部分 (7a), (7b) の座敷付近に前記ねじに沿駆動するナット部革 (9a), (9b) と駆動することのできるタオーム (8a), (8b) を設け、前記駆動部 (5) 及び駆動するナット部革 (9a), (9b) の間に延びる駆動部の前記船舷部分 (7a), (7b) が、剛性であり、一定の長さを持つようになりますと共に、前記各ねじ (12a), (12b) を、前記駆動部の船の方向に平行な方向Dに沿い位差する余地を残して、

前記案内部材と協働するスライド (3a), (3b) に取付けたことを特徴とする位制御装置。

12. 前記各ねじ (12a), (12b) を、前記駆動部に一体のスライド (3a), (3b) の内面に接して接続され、船舷に沿つて配備された複数部材より構成したフック (13a), (13b) により支持され、この複数部材に前記スライド (3a), (3b) の一方の側面と接觸することのできるタオーム (21) のような板状方向船舷部材を設けたことを特徴とする請求の範囲第1項ないし第5項記載の位制御装置。

13. 駆動する前記フック (13a), (13b) に對し前記各ねじ (12a), (12b) が回動しないようにより構造することと、このねじの各端部に形成したみぞ (20) により拘束に行なうようにして、前記ねじを収容する作用するよう前記フック (21) に形成した切欠き (16a) の縁部 (17a), (18a) を、前記みぞ内にはめ込みようにしてみぞの端部とすばりを特徴とする請求の範囲第10項ないし第5項記載の位制御装置。

14. ピボット (39) のまわりの枢部 (3) の回転位差を割得する請求の範囲第7項又は第8項記載の位制御装置において、ナット部革 (109a) に平行な平面内にねじ (112a) を、前記駆動部の軸 (107a) に平行な平面内にねじ (112a) が角度的に十分なまわりが可能である開閉部 (40) により、前記駆動部 (3) に連結し、前記ナット部革 (109a) 及び駆動部 (105) をさらIC、前記ピボット (39) に平行な船舷のまわりに回転の余地を残して取付けたことを特徴とする位制御装置。

15. ベースと、位差させようとすると枢部とから成る2個の部品の一方に連結した支持体に對してスタークップを保持する保持手段Fと共に、前記ナット部革に駆動するねじと他の前記船舷との間の取りはずし自在を達成手段Gとしとを備えた請求の範囲第1項ないし第5項のいずれかに記載の位制御装置において、前記保持手段Fと、前記支持体 (404a) に一併のフレーム (62) により機界を達成した後、前記スタークップ (426a) の一部分を受入れて前記フレーム (62) により前記部分を組み、前記駆動部 (405) の船に平行な前記スタークップ (426a) の位差に對応するようにし、そして前記船 (61) の中央面にほぼ直交する方向に前記支持体 (404a) に對する前記スタークップ (426a) の位差を説明するよう、前記スタークップ (426a) と、前記支持体 (404a) に對して組みた前記駆動手段Fを設けて、前記船 (61) 内に前記スタークップ (426a) をはじめ込む間で平行に駆動するようにして、このようにして組みた位差体を、前記船内への前記スタークップのはめ込みを、前記ねじ (412a) がなむ位差の部品 (403a) に連結されてない間に、行をうとがでてあるが、前記船 (61) に對する前記スタークップ (426a) の位差を、前記ねじ (412a) が位差の部品 (403a) に連結されたときは、駆動するようにしてみぞとすばりを特徴とする位制御装置。

16. 前記船 (61) を、前記スタークップ (426a) のスリーブ

のうち、前記電動機(405)の軸と向軸のスリーブ(431a)を受入れるように設計したことと特許とする請求の範囲第15項記載の定位制御装置。

17. 前記芯(61)を、前記支持体(404a)と一体のメタ形状材(63)内に収容したことを特許とする請求の範囲第15項又は範囲16項記載の定位制御装置。

18. 前記メタ形状材(63)が、ほぼ直角の二面体の形状を持ち、この二面体の四隅のうち前記芯(61)を形成した一方の面(64)は、前記電動機の軸と、前記複数歯車のナット歯車の直角歯の面(65)は、前記支持体(404a)、(66)からわずかに離れると共に前記二面体の歯車から深い方の前記支持体の歯車に沿つて前記支持体に固定され、この二面体の前記直角の面(65)は前記支持体の高さ位置において前記複数歯車(4, N, 66)を接することを特許とする請求の範囲第17項記載の定位制御装置。

19. 前記スマートラップ(428)と前記支持体(404a)とを互いに接続する対になつている連結手段Nと、突起(67)と、との突起をその対側中に受入れることでできる穴(68)とから成る1対Eにより構成したことを特許とする請求の範囲第18項ないし範囲19項のいずれかに記載の定位制御装置。

20. 前記突起(67)を、前記スマートラップ(428)Eに接けて、前記電動機の軸の方向にほぼ平行に突出するようにすると共に、前記支持体(404a)又はとの支持体と一緒に前記スマートラップ(428)と前記支持体(404a)とを互いに接続する対になつている連結手段Nと、突起(67)と、との突起をその対側中に受入れることでできる穴(68)とから成る1対Eにより構成したことを特許とする請求の範囲第18項ないし範囲19項のいずれかに記載の定位制御装置。

21. 前記スマートラップ(428)と前記支持体(404a)とを互いに接続する対になつている連結手段Nと、突起(67)と、との突起をその対側中に受入れることでできる穴(68)とから成る1対Eにより構成したことを特許とする請求の範囲第18項ないし範囲19項のいずれかに記載の定位制御装置。

22. 本ゼ形状材面を持ち、このメタ形の互いに平行な2つの平面を面(70), (71)ICより前記ナット曲面(403a)を受入れる前記スマートラップのスリーブ(430a)の各表面を組むようにして包囲部品(69)を備え、前記各表面に前記ナット曲面と接するおねじ(412a)を過すための穴(72)を形成すると共に、前記メタ形の各表面面を互いに連絡する包囲部品の部分(73)IC、前記電動機の軸を包囲する保護管(410a)を受入れるとことのできるみぞ穴(74)又は同等の部分を設けたことを特許とする請求の範囲第18項ないし範囲19項のいずれかに記載の定位制御装置。

23. 前記ナット曲面に抵触するねじ(412a)と、他方の筋曲(403a)との間の穴(76)は少し可能な連続手段Nと、前記ねじの一端部に設けられ目穴(76)又は穴を形成した調節部(75)と、前記筋曲(403a)の側ににおいて前記目穴(76)ICはまるようにしたビン(77)とにより構成したことを特許とする請求の範囲第18項ないし範囲19項のいずれかに記載の定位制御装置。

24. 前記調節部(75)と前記目穴(76)とを、前記ビン(77)ICと一緒に止め片(79)と止め片(79)の側とは対の側で前記ビンにはめ丸とくに安形可能な座金(80)により形成した弹性手段との間で前記ビン(77)の方向に沿つて

付けたことを特許とする請求の範囲第20項記載の定位制御装置。

24. 前記電動機に、前記軸の各端部に設けた2個の歯車を駆動するようにした2個の出力軸を設け、前記電動機を、前記複数歯車の一方の側にその他の側に對するより一端部近せて位置させた請求の範囲第15項ないし範囲19項のいずれかに記載の定位制御装置において、一方の前記保護管(410a)を、前記電動機(405)の軸に平行に接続する余地を残して取付け、前記保護管(410a)を前記電動機のケーシング(406)から離して置くように弹性手段(83)を設けたことを特許とする請求の範囲第16項ないし範囲19項のいずれかに記載の定位制御装置。

25. 前記電動機のケーシング(406)の端部に、長さの長い方の前記保護管(410a)と接続するスリーブ(84)を設け、このスリーブにより、ビンとくに前記スリーブ(84)に固定されたねじ(86)に接続するようにみぞ(85)を形成した水管部を受入れるようにし、前記ねじ(86)を前記スリーブ内ICはまる前記保護管のみぞ(85)内に突出するように前記スリーブの端を貫通させ、前記保護管を備てる前記弹性手段(83)を、その一方の側においては前記スリーブ(84)の端部又は前記電動機のケーシング(406)ICと一緒に止め片に附しつけ、そして他方の側においては止め片とくに前記保護管に連結した軸(90)ICそれぞれ押しつけたことを特許とする請求の範囲第24項記載の定位制御装置。

26. 自動車の底盤の並進定位、高さ定位又は角度的定位成はこれ等の全部の定位を制御すると共に前記底盤の背面の構造を制御する請求の範囲第25項記載の定位制御装置。

27. 自動車の底盤の並進定位、高さ定位又は角度的定位成はこれ等の全部の定位を制御すると共に前記底盤の背面の構造を制御する請求の範囲第25項記載の定位制御装置。

明 民 集
明の名物

換算とくに自動車の座席又は座席の部分のベースに対する実数を割離する装置

本研究は、電動車輪方向に直交する船帆を持つナフト船を動かすことのできるクォーム又は同様の船帆を一端に取り付けた船を持つ電動船を備え、前記クウォームと前記船帆を組合せたナフト車帆(nut-wheel)の単位体により運送装置の一部を形成すると共に前記ナフト車帆のナフトにねじ又是その類似材を遮蔽させ、さらにはベースと横積(element)との間にナット車帆内手段を設けて成り、ベースに対する横積の定位を確実に保つ構造に屬する。

ことに本規則は、この場合その適用が得て有利であると考へられたるまで規定するわざではないが、自動車の前部にこの自動車の座席の定位を封鎖する装置に関する。この如き自動車の前部には従来多くの装置が提案されている。しかし電動車の駆動装置とサブドライブとの間に回転運動の供給は、従つての問題がある。ウォーム及びナットドライブから成る回転装置はサクサクが小形で簡単であり運送装置を立ててのとがとくに望ましい。さらにはこの装置の製造のため各部の絶対的相対位置の固有の保護を補うことが望ましい。

この明細書でナット歯車又は簡単に歯車という用語は同種歯車を示すのに同じ意味を有する（複数形を含む）。

前記したような状況は、実験させようとする供出に対してねじをその船組のまわりに回転しないよう保持しこの場合ねじの取付けが簡単になる利益がある。さらにナットの面歯及びそのナットにねじ込んだねじの間の力の伝達がこのねじの全周にわたり強いまじめの条件のもとで行なわれる。

本発明の目的は、前記したようなを基盤をとくに、これ等の装置がほんの実用上の資本に從来よりも一層多く適合するよう、とくに被説装置が小形になり運送容易に立てられるようによることにある。本発明は、被説装置中にこの構造を刻する。とくにこの根茎と電動機との間の接続は被説装置の物理的対位保で、製造公認に対する係係を放棄するようとするのがよい。

本発明によればベースに対する樹脂の定位を抑制する結果となりようか装置は、被成形部に亘りて覆層して収益する2個の内凹形のスリーブから成るスタータップを設け、前記スリーブの内部空間を、その交差部に對応する穴を介して互いに通達させ、前記両スリーブのうちの一方がスリーブにてナット曲歯を受入れることができ、そして他のスリーブにはめるようにして一端部の内凹部に前記両スリーブの交差部に對応する底を形成され電動機のケーシングに連続して當部にウォームを収容する所により、前記被成形装置の設立のため前に前記被成形部に記述したタップの双方のスリーブ内にはめ、前記歯が前記底穴に對応するようにすると共に、前記ウォームのひじ山が前記底穴を貫いて通じて前記ウォームの内側に定位する。

にかみあうようにし、前記一方のスリーブを前記ナット歯車のナットに嵌合するねじを通過ための穴をそれぞれ形成し、かつ2枚の側板の間に取付けかごとを装備する。

横方向に相互に隣接を重いたり互いには平行な2個の梁内部材により梁内側にされる拘束の場合は、駆動部は、これらの2つの梁の内部材の間に配設され、各梁内部材にほぼ直交する向きにした2個の出力軸を備えている。駆動部は梁内部材のうちの一方の梁内部材に於ける梁内部材に対するより一層近く位置させである。駆動部とその近い方の梁内部材との間に駆動部を設けた長尺の短い万の骨を、駆動部ケーブルと並んで位置している。

ナット曲面を受入れるようにしたスターラップのスリーブを間に取付けた2個の側板は、定位させようとする側板とベースとから成る部品の一方に固定した又はこれ等の2部品の一方に連結した部品に固定した二又筋肋の2つの側板で構成するのがよい。

ナット固定にはスリープの各端部にカップを軽い圧力のもとにはめてある、これ等のカップはナット固定の軸受として作用する。

ナット曲車は硬質のプラスチック材から作るが、カツブ

ねじはその船底のまわりに回転しないように保持するの

ナット留車のナットにねじ込むようにしたねじ又はその

できるよう取付けるとができる。

これ等の場合に変位をせようとする要素がその変位中に生ずる公差によつてはね的軌道から片寄つても、ねじの持つ遊びにより全節の製造に固有な不完全箇所を調整することができる。

電動機及びウォームの間に添ひる電動機駆動軸の部分は通用性を持ちその大きさを定めてより定めるのが有利である。直角方向に長い案内部材により案内される駆動の並進直位の初期の場合は、ねじが直位方向に平行な向きに走るから、本発明によればねじ駆動の方向には複数直交する方向に沿いねじ全体に平行に案内することができるようねじを框形に取付けるのが有利である。

ねじは、ねじに平行な様方向軸前のまわりに角度方向に遊びを保きただしとのねじから成る距離を置いて前記機器の一部に取付けをフックアップに一体にするのがよい。

このねじは定位させようとする根柢に連絡してある。この場合駆動根のケーシングはベースに対し固定したままである。1 定位としてねじは、ベースに連結されねじで固定したままであるが、定位する駆動根のケーシング

シングは実施させようとする前記権利にて連絡してある。一般化並選官はせようとする権利は、相互に横方向に開闊を置いた互いに位置平行な2箇の室内部材により案内される。前記権利は、各案内部材に係合するスライドを備えている。駆動部は、これ等の2箇の室内部材の間に配置され、各案内部材にはば渡交する向にした2箇の出力軸

を備えている。車両に連結したねじは各フレームに嵌合するが、対応する船の部分の表面形状は各ねじに嵌合するナット曲車に嵌合するカウルを設けてある。この場合電動機及び電動車のナット曲車の間に並びる電動車の船の各部分は、剛性を持ち一定の吸収を備える。又各ねじは、電動車の船の方向に平行な方向に沿う定位の余裕を残してナットねじ定位可能に案内部材に嵌合するスライドに取付けてある。

本発明装置は又ビボットのまわりの車両の回転定位を制御するのに使うことができる。前記ビボットはこの車両をベースに対して案内部材を構成する、この場合ナット曲車にねじ込んだねじは、電動車の船に平行な平面内でねじに十分な角度の定位の余裕を残して開閉部により前記車両に連結される。前記のナット曲車及び電動車はさらに、ビボットに平行な船のまわりに回転できるように取付けである。

前記した並進定位を制御する装置は、自動車の座席の前部又は後部に向かう定位を制御するのに使う。この座席はその底部の下方に互いに平行な2個の案内部材に沿う定位することのできるスライドを設けてある。各車内部材に嵌合するねじは、電動車の船に平行な方向に沿う定位する余裕を残して対応するスライドに連結してある。

協調するフックアップに対し各ねじを回転しないよう位姿することは、ねじの各部分に形成したみぞの形状により確実にできる。とのみぞには、ねじにはまるように作用す

るフックアップに形成した切欠き部をはめる。

フックアップは、車両と一緒にスライドの内側に挿して保持され該部に沿うに配置した被覆により保護することができる。この被覆は、スライドの剛性と協調することのできるリブのような複数方向のヒンジ部品を備える。

並進定位を制御するこのような装置は又、自動車の座席の高さ及び角度を調整するのに使うこともできる。この場合座席の前部に2個の上下方向の案内部材を設けるのがよい。各案内部材には上下方向に向けたねじが設置し、このねじを電動車の船の方向に平行な直交方向に沿う定位の余裕を残して座席に連結してある。

ねじを支えた各フックアップには、とのねじを復元ケーシングで取付ける。

さらにベースと定位させようとする車両とからなる2部品の一方に連結した支持体にスマーラップを固定するにより、立てての状態とこのような単体部材の製法の簡単さ及び既存性と共にして共に満足の得られることが望ましい。

本発明の目的の又、ベースと定位させようとする車両とからなる2部品の一方に連結した支持体に定位装置のスマーラップを被覆がつかれても取付け可能で立てることができる効果を得たようした装置を提供しようとするにある。

本発明は、ベース及び定位させようとする車両から成る2部品の一方に連結した支持体に対してスマーラップを保護する保持手段と共にナット曲車に嵌合するねじを介する装置に取りはずし可能に連結する連結手段とを備えた、ベ

ースに対する車両の定位を制御する前記したような装置において、保持手段は、支持体に一体のフレームにより境界を定められスマーラップの一部を嵌入して前記フレームにより前記スマーラップの部分を跨ぎ電動車の船に平行な前記スマーラップの定位に對応することができるようにして船又は車両部材を抜け、前記船の中央部には直交する方向に沿う前記支持体に對する前記スマーラップの定位を防ぐために、前記船内に前記スマーラップをはめる間に沿うよう前記スマーラップ及び支持体に對に沿うにたなつ漢字手段を設け、このようにして定位する手段により、ナット曲車に嵌合するねじをなじ他の部品に連結されてない時は前記スマーラップを前記船内に取付けることができるが、前記したねじを前記船の船部に連結したときは前記船に對する前記スマーラップの難易度を防ぐようにして船を保持する前記装置がある。

窓は一絞に、電動車の船に同船のスマーラップのスリップを受入れるよう形成する。

この窓は、支持体と一体のマウント形状内に配置するのが有利である。このマウント形状内はほぼ直角の二面体の形状を持つ。この二面体の両面のうち前記窓を形成した一方の面は電動車の船と漢字装置のナット曲車の並行性の船部とに対応するに平行であり、又二面体の他方の面は支持体から遠い方の支持体の縁部に沿う支持体に固定されている。支持体の高さ位置にある対応をなした連結手段は、この二面体の他方の

面に設けてある。

互いに平行を2個の案内部材により案内される車両に対する前記装置の場合には前記したタブ状部材は、各案内部材の内面に設けてある。

スマーラップ及び支持体の対になつた連結手段は、中央と、底面で中央との突起を受入れるとのできる穴からなる2列により構成することができる。この穴は、スマーラップに設けられ、電動車の船の方向には平行に突出するが、穴は、支持体又はこの支持体に一体の車両に、とくにこの支持体に固定したタブ状部材の前記した面に形成してある。

ナット曲車を受入れるスマーラップのスリープの各端部を面を向むようにした互いに平行な底平面を傳えたU字形横断面を持つ複数部材を設けてある。これ等の面にはナット曲車に嵌合するねじを透か穴を形成してあるが、リムみぞの各側面間を連結する複数部材部分には電動車の船を組む保護管を受入れることのできるスロット又は凹等の部分を形成してある。

タオーム車両に嵌合するねじと他の部品とを取りはずし可能に連結する連結手段は、ねじの一端部に目穴又は穴を形成した頭部と前記部材の側で前記した目穴内にはまるようになしたピンとを備えている。このピンの外側と目穴の内側との間に作動中に所要の定位ができるよう十分な半周方向のすきまを設けてある。この目穴は、ピンに一体

の止め片と弹性部材との間にとのビンの方向に沿い緊密に締付けられる。弹性部材は、とくに、前記した止め片の反対側で前記ビンに支えるナットを調整用の穴部可能な締めにより形成される。

本前記装置を各案内部材により案内される根糸の定位の制御に使う場合には、ねじの口元に抵触するビンを支える前記した部分を、案内部材内で可動なスライドにより構成するのが有利である。ビンはこのスライドに一体の部分により支えられる。

本前記装置の電動機が軸の各端部に受けた2個の締め抜き部を駆動するよう前記した2個の出力軸を備える場合には、この電動機は一枚に締め抜き部の一方にその他方に対するより一層近く位置させる。電動機の2個の軸は締め抜き部により固定される。近い方の保険管は一枚に電動機ケーシングと一体であるが、長い方の保険管は電動機ケーシングに取りはずし可能に取付けられる。この長い方の保険管は固定した範囲にわたり電動機の軸に平行に駆動できるよう取り付けのものがよい。とくに前記しようとする各端部の間隔の不足を補助するよう、電動機ケーシングからこの保険管を開拓するよう弹性部材を設けてある。

この保険管を複数部材に取付けることは、電動機ケーシングに抵触する端部では保険管の端部を受入れるようにならスリーブを設け、前記保険管の端部ではこのスリーブに固定されこのスリーブの壁を突出するビンとくにねじに沿面するようにしたみを設けて前記ビンが前記スリーブに

はまる前記保険管のみぞ内に突出するようにしてることによってできる。このみぞの船舷方向を基点によって、船舷方向に沿う保険管の定位の位置範囲が定まる。保険管を所てる弹性部材は、との保険管のまわりにねじられ、一方の端では前記したスリーブの端部又は電動機ケーシングに一体の止め片に、又他方の端では前記保険管に接合した止め片とくに保険管にそれぞれ押しつけられたる各ねじにより構成する。

前記した構造のほかに本発明は添付図面について述べる。該記された特定の実施例に關してなす詳しく後述する若干の他の構造も含むものである。

第1図は自動車の底面の從前方向位置を調整する本発明実施例別途装置の若干の外部部品と共にその組合面を示す斜視的配線図である。

第2図はフランジ及び底面のねじを第1図の左印記に沿い方から見た部分面図である。

第3図は第1図の右端の筋条を除いて示す平面である。

第4図は底面定位を前記するとくに底面の斜板の斜傾を示す本発明実施例別途装置の接合面図である。

第5図は本発明実施例別途装置及び底面接合部の一部の展開斜視図である。

第6図はスライドへのフランジの固定を示す展開斜視図である。

第7図及び第8図は本発明実施例別途装置の一部のそれぞれ異なる名実型の斜傾及び平面図である。

第9図は本発明実施例別途装置の1室部を組立てて示す斜視図である。

第10図は第9図の本発明実施例別途装置の若干の部品を別角度から見た斜視図である。

第11図は第9図の本発明実施例別途装置を組立てて終った状態で第9図と同じ角度から見た斜視図である。

とくに第10図ないし第3図には、総合的にねじわしの自動車の底面(11)により構成される根糸(element)の定位を制御する本発明実施例別途装置を示してある。底面(11)は自動車の底面に直交する方向に沿い並進定位することができる。底面(11)はその後部の下方に各側部で底面に固定の互いには平行な案内部材(4a),(4b)に沿う移動できるスライド(3a),(3b)を備えている。

各案内部材(4a),(4b)は底面(11)の案内手段Qを構成する。

本発明実施例別途装置はケーシング(6)をナットをねじを持つ電動機(5)で構成している。電動機(5)の船舷は、各案内部材(4a),(4b)に対して公差を別にすれば底面に沿う方向に配置してある。電動機(5)は、2個の案内部材(4a),(4b)間に配置され、これら等の案内部材には底面に沿う向きにした出力軸(7a),(7b)を備えている。各ナットとねじ(7a)は一端部に、協働するナット底面(9a)を駆動することのできるたとえばウォーム(8a)又は同等の部材を設けてある。各回転軸(7a),(7b)は、電動機回のケーシング(6)に連絡した保険管(10a),(10b)内に配置してある。

各船(7a),(7b)は剛性を持ち、それぞれの底面は組立てにより決定する。

ナット底面(9a)により、その外側にウォーム(8a)のねじにより面を構成することができる底面を形成した底面を示し、ウォーム(8a)の回転により船(7a)に直交する船底(11)と底面(9a)に直交する船底(11)と底面(9a)のねじにより船底(11)を底面(9a)に接合するようにしてある。

ナット底面(9a)は直線に、四方内熱線として船底(11)とナット(9a)を接合する。ねじ(12a)又は同等の部品でナット(9a)のねじ(12a)を構成してある。

ねじ(12a)のような各ねじはその船底のまわりに回転しないように保持すると共に定位せらるようとする根糸に連絡してある。示された実施例ではねじ(12a)は定位をせらるようとする根糸を形成する底面(9a)に一体のスライド(3a)に接合してある。ねじ(12a)について述べた技術が同様な根糸を持つ他方のねじ(12b)にそのままであるのは別らかである。このようにして、文字#を付ける各根糸は、斜傾及び底面に沿う方向に並進定位する。斜傾及び底面に沿う方向に並進定位する。斜傾及び底面に沿う方向に並進定位する。

ねじ(12a)は、電動機(5)に沿う平行に第1図の二重矢印Dにより示した方向に少くとも1つも付けて定位の余地を残して、すなわち定位できるようスライド(3a)に接合付けてある。

第2図及び第3図に明らかのようにねじ(12a)は、スライド(3a)の内面(14a)に当てがつスラップ(13a)と一緒にしてある。スラップ(13a)は、案内部材(4a)の底面の

長さには複数の長方形の形状の薄板により形成してある。フック (13a) の下部部分には複数の長方形の形状を持つ複数方向の切欠き (16a) (第2回) を設けている。この長方形の長辺の一方に沿って延びる開口 (16a) は、フック (13a) の複数方向下部部に開口する。切欠き (16a) の複数方向の端辺 (17a), (18a) は、フック (13a) を形成する複数の厚さの 2 倍の厚さを持つ。この厚さは、切欠き (16a) を切欠いたときに保持された舌状片 (19a) (第3回) のような各舌状片を切欠 (16a) の反対側に 180° に折り込むことによって得られる。

ねじ (12a) のような各ねじは、その複数方向の各筋部にその底面に沿って延びるスリット (10) のような複数の平行なメリットを形成してある。各スリットは複数方向端辺 (17a), (18a) を受入れることができ、前記したスリット内に各端辺 (17a), (18a) をはめることが、筋部 A に複数の筋部を形成する複数端辺 (17a), (18a) の方向に沿いねじに複数の余地を設けるように複数の遊びを設けて実現する。

フック (13a) は、とくにフック (13a) の長辺に平行な複数方向 (21) (第1回) により複数したヒンジ部片を持つ。スライド (3a) の内部に内かい奥出する部 (21) は、たとえはフック (13a) を構成する複数の複数方向の押正 (22) の肩平な頭と抵当する。

フック (13a) は手動制御式の標準規格のスライド (3a) に取付けて保持するよりに優れるのが有利である。すな

むらフック (13a) は、本末とのような装置用に充てられるない底面に本体を容易に取付けることができるようにするのに、既存のスライド (3a) の底に改造を必要としないようにしてある。

たとえば第6回に示すように側面 (22) は、とくに手動制御の複数部 (22) (表示してない) の位置決めのために側面 (22) の複数部を切削し交換させることにより得られる舌状片 (22a), (22b), (22c) を得ている。

このようにしてフック (13a) には各舌状片 (22a), (22b), (22c) を通すようにして各穴 (4a, 4b, 4c) を形成して、リブ (21) が側面 (22) に当たるようにしてある。

フック (13a) の各筋部を突出しリブ (21) の袖部を中心としてフック (13a) の各筋部の近くに位置する 2 個のビン (1a, 1b) は、筋部 (21) の内腔の穴 (1a, 1b) 内にはまるように設けてある。各ビン (1a, 1b) は、リブ (21) の内側にフック (13a) が動けるように、各穴 (4a, 4b, 4c) 内に十分な大きさをもつて充てられる。

フック (13a) は板材により構成したキー (23) により内部 (22) に嵌めがうるビン (1a, 1b) を穴 (1a, 1b) 内にめりこむ。キー (23) は、第2回及び第6回に示すように一側は台形で残りの部分は丸形である。キー (23) は、フック (13a) のスライド (3a) とは反対側に位置しスライド (3a) の筋部 (22) の舌状片 (22a), (22b) (又は切れ目) と接觸する。

キー (23) は、ビン (1a) の筋部をはめる穴 (24) を形成してある。第2回及び第4回に明らかのように上下方向の筋部をを持つ舌状片 (22a) と協働するようにしてキー (23) の筋部には、キー (23) がビン (1a) のまわりに回転しないように舌状片 (22a) をはめるみぞ穴 (23a) を形成してある。キー (23) は、筋部頭が円弧状で側面 (22) の反対側に向かい凸形にした遊びねじにより構成してある。

フック (13a) はこのようにして、リブ (21) 及び側面 (22) の筋部により固定する、筋部 A に平行な複数方向のまわり内側方向のむかみ遊びを設けてスライド (3a) の内面に筋部 A に保持してある。

カーリング (25) は、ねじ (12a) を覆うようにとくに点接着によりフック (13a) の筋部部分に固定してある。

ナット (26a) 及びウォーム (5a) が一部を形成する減速装置 B (とくに第5回参照) は 2 つの側面 (27a), (28a) を持つ二叉端部 S により案内筋部 (4a) に対し固定した状態で保持したスターク (26a) を保有している。各側面 (27a), (28a) は筋部 A の方向に沿いスターク (26a) を保有する。二叉端部 S は案内筋部 (4a) の下側に固定してある。各側面 (27a), (28a) にはねじ (12a) を通す穴 (29a) を形成している。

スターク (26a) は單一作 (モノブロク) から成っている。

スターク (26a) は、正いに直角を挟み距離 d (第1

回) を隔てる筋部を持つ互いに交差する 2 つの内形のスリーブ (30a), (31a) を備えている。各スリーブ (30a), (31a) の内部空間は、それぞれの交差部に対応する穴 W (第5回) を介して互いに連通している。

スリーブ (30a) はナット通路 (9a) を受入れることができる。スリーブ (31a) は、ねじ (7a) 及びウォーム (5a) を受入れる保護管 (10a) の滑動を受入れる。この筋部では第5回に明らかのように保護管 (10a) はその円周部に、スリーブ (30a), (31a) の交差部に対応する窓 (32a) を形成してある。窓 (32a) は、保護管 (10a) を保護管 (10a) に直交する円筒面との交差部に上向き形成される。この内筋部は、スリーブ (30a) の内筋部と同じ直線を持ちスリーブ (30a) の筋部から直線 d を隔てて位置する筋部を持つ。保護管 (10a) の外筋は、滑動ナットを除いてスリーブ (31a) の内筋に寄しい。

ウォーム (5a) のねじ山は窓 (32a) を横て突出している。保護管 (10a) の筋部をスリーブ (31a) 内にはめ込み窓 (32a) が穴 W に對向するようになると、ウォーム (5a) のねじ山は又穴 W を貫いて突出スリーブ (30a) 内にはめ込みナット通路 (9a) にかみあうことができる。スリーブ (30a) はその壁に、穴 W は反対側の上部筋部に位置する複数の複数方向のメロット (33) を設けてある。みぞ穴 (33a) は、円弧に沿い複数方向に伸び、とくに滑動のための窓 (9a) の外筋の手入れができるようにしてある。みぞ穴 (33a) を閉じるようニセ穴 (33a) にプラスチック材料から成る保護用のカバー (34a)

を設けてある。スリープ(30a)の各端部にはまるようカシブ(35a)を設け底面(9a)の各船筋方向端部を覆うようにしてある。ナット曲面(9a)の外端は、底面(9a)用の船筋を構成する各カシブ(35a)の内端に接する。各カシブ(35a)の外端は、スリープ(30a)内に各カシブ(35a)がわざかを繋ぎり作用を伴つてまるよう仕切である。2個のカシブ(35a)は、互いに同じで円筒形のナット部分(35b)とねじ(12a)を接するための中心穴を形成した且平太船筋方向底部(35c)とを備えている。各カシブ(35a)の内端部はナット曲面(9a)の方を向いている。円筒形ナット部分(35b)の船筋方向長さは、カシブ(35a)をスリープ(30a)内に接するための外端をスリープ(30a)の筋筋部(35c)の内端に位置させたときに、円筒形ナット部分(35b)の内端部が底面(32a)の縫合部の近い方の区域mを覆うよう仕切してある。2つの区域mは、底(32a)のゆがんだ曲筋nに丁度形成した船筋の小船と考案された船筋の2つの頂点の間に位置する。これ等の2つの頂点は底(32a)の縫合部と保底管(10a)の船筋に交叉する平面とその交差部により形成され、底(32a)の垂直二等分線上にある。この平面は、保底管(10a)をスリープ内に正しくはめこみにスリープ(30a)の船筋を透過。円筒形ナット部分(35b)と底(32a)の縫合部の区域mとの協働によりスリープ(30a)從つてスターラップ(26a)を保底管(10a)に確実に固定する。クオーム(8a)は、各カシブ(35a)の内筋筋間に存在する自由空間内に突出する。

に沿つて差し込むように固定する。各カシブ(36a)はナット曲面(9a)の各筋筋部に位置させる。このようにしてみぞ穴(32a)をカバー(36a)により閉じるが、この閉鎖は後で行つてもよい。

該装置用の底金(36a)を側板(27a), (28a)の内面に沿つて位置させ後に、スマータラップ(26a)を各側板(27a), (28a)間にはめてスリープ(30a)が穴(22a)と同様にになるようする。

ねじ(12a)を穴(22a)に通して、ねじ(12a)をナット曲面(9a)のナットに沿つて位置させることによりねじの固定作用を出す。

該装置底金のいわゆる組立てはこのようにして終る。ねじ(12a)はフランジ(13a)に取付けたままでして、次いでこのフランジ(13a)をスマータラップ(26a)の側筋に組付ける。

クオーム(8a)、ナット曲面(9a)、スマータラップ(26a)及び二又船筋3によう形成した該装置底金の外形寸法は小さい。

長さの短い保底管(10a)は船筋組合のケーシング回と一体である。ケーシング回に加わる船筋組合の反作用偶力は保底管(10a)によりスマータラップ(26a)に伝わり、スマータラップ(26a)はこの偶力を二又船筋3及びベースプレートに伝える。すなわちケーシング回及びベースプレートの間を直接連結する必要はない。

電動機回は底1回に示すよう以來内部材(4b)より案内部

成る意味で底面(9a)の案内カシブを形成する各カシブ(35a)は、曲面(9a)の底筋に沿つて互換性を持つ。すなわち適当なカシブ(35a)を組合せた同一のスリープ(30a)は種種の底面(9a)に適合することができる。

ナット曲面(9a)は既製のプラスチック材料から作るが、カシブ(35a)は金属製である。

スリープ(30a)は二又船筋3の側板(27a), (28a)間にはめてスリープ(30a)の船筋が各穴(22a)の中心に對称するようにしてある。各側板(27a), (28a)の内面と各面接カシブ(35a)との間には該装置用の底金(36a)を設けるのがよい。各底金(36a)は、キャシブ(35a)の反対側に穴(22a)内にねじるようしたカバー(37a)を備えている。ねじ(12a)は各カバー(37)を貫通する。

底金(36a)はカバー(37a)と一体にしてこの単位体がスリープ(30a)を覆うことのできる底平板(保底管)を形成する平板を形成するようにしてある。

第5回に示した該装置底金の組立ては極めて簡単かつ迅速に行われた前記の説明の通りである。

保底管(10a)の端部は、底(32a)が穴Wに對向するようスリープ(31a)内に固定させることによりれる。クオーム(8a)はそのねじ山が穴Wを経て突出する。

次いでナット曲面(9a)は、回転装置を作り並並定位によりスリープ(30a)内にはめられる。このようにしてはめ終ると、スマータラップ(26a)は保底管(10a)の船筋の方向

に(4a)の方に一層近く位置させてある。長さの短い方の保底管(10a)はケーシング回と一体であるが、他方の長い方の保底管(10b)は、ケーシング回に沿つてスリープ(31)内に自由に滑動し又回転するようにはめてある。

前記本発明別部装置の作用は以下に述べる通りである。

底金(36)を案内部材(4a), (4b)に沿い差し定位させると底板回を底面の移動方向に対応する回板方向に回転させる。

電動機回の回板により、船筋への方向に長い動かないよう位を保持されたナット曲面(9a)が一層低い底面で回転する。回転しきいように保持された船筋をねじ(12a), (12b)により回板回転されるナット(11a), (11b)が抵触することにより、ねじ(12a), (12b)從つてスマータラップ(3a), (3b)と各スマータラップ(3a), (3b)に連結した底金(36)とを船筋の方向に沿い回転させる。

各船(7a), (7b)は附性を持ち長さが一定であるから、さらに内スマータラップ(26a), (26b)は電動機回のケーシング回に連結した保底管(10a), (10b)に固定してあるから、各ねじ(12a), (12b)の2本の船筋は、人間の直感H(第1回)は、電動機回の船筋を沿う供方向平面内に一定である。

送りられない製造公差によつて各案内部材(4a), (4b)間をつて各ねじ(12a), (12b)間の平行度は完全ではない。さらに各ねじ(12a), (12b)及び各船(7a), (7b)間の直交性は

いずれも完全ではない。

各ねじ(12a), (12b)を方向Dに沿う変位の余地を残して取付けることにより、各ねじ(12a), (12b)の差違変位にこれ等のねじの軸線間の距離に起る変動は、それぞれのねじを複数個より複数され、相互に運動する程度の部品に許容できない応力は生じないでこの距離が複数個の軸線を有する横方向平面内でねじ日に等しい状態に保たるようにする。

たとえば簡単な圧力ばねにより電動機に接合した軸の船を使うことができるから、設置はとくに簡単で経済的である。

各案内部材(4a), (4b)間の平行度の允差は数mmにもなり、すなわち各案内部材(4a), (4b)の前後の軸道間隔の差が数mmの程度になるが、歯面を平行度の場合はこの差は零である。本発明による各ねじ(12a), (12b)の取付取付けによつてこのよき差は容に許容することができる。

第4回には本明示装置を、自動車の座席の構造的に示し大背板(38)から成る複数の駆動変位の制御に応用した場合を例示してある。座席背板(38)は第4回の平面に直交する横方向ビン(39)から成るビキナのまわりに回動する。

第1回ないし第3回について記述した各部品と同様な機能を有す第4回の制御装置の構成は、第1回ないし第3回の類似の部品を示す参照数字に100を加えた数字で示す。

これ等の部品の説明は別途に行い第1回ないし第3回について前記した所は省略しない。

ナット歯車(109a)にねじ込んだねじ(112a)は一端筋を筋筋部(4)により座席背板(38)に接続してある。開閉部(4)の中心はビボット(39)から距離Lに位置している。開閉部(4)はまたとえば、座席背板(38)に一体の回り軸(41)により形成してある。回り軸(41)は、ねじ(112a)に一体のヘッド(5)に設けた複数の孔に嵌め込むことができる。

開閉部(4)により、ビボット(39)に平行な筋筋部(4)の中心を通る軸線のまわりにねじ(112a)が回動できるだけなく又、駆動歯の歯(107a)に平行な平面内でねじ(112a)が角方向に十分に振れることができる。この振れの軸跡は第4回でねじ(112a)の歯筋と同じ距離Pから成つてゐる。すなわちねじ(112a)の軸跡は許容の振れをつけて第4回の平面から出る。

ナット歯車(109a)は、ビボット(39)に平行で第4回で点Bで表わした横方向軸線のまわりに回動できるよう取付けである。この点Bはナット歯車(109a)の歯筋部の中心に位置してゐる。このよき回動のできる第4回の組立例によれば駆動歯(105)及びスターラップ(125a)から成る組はベースと一体の支持体(43)に、点Bを通る軸線のまわりに回動できるよう取付ける。

支持体(43)はみぞ形材により構成してある。このみぞ

形の横方向エアから遠い方の各側面部(44)は球面形カップの形状又は内筋面材に内蔵させ、その凹入部をこのみぞ形の内側の方に向けである。各部分(44)はねじ(112a)を穿た穴(45)を形成してある。穴(45)は、第4回に一方は実筋で他方は筋頭で構成した2つの筋部位置間でねじが取れることができるよう十分な角度範囲を持つ。スターラップ(125a)は、両端に直角に述べたカップ(38a)と同様なカップ(135a)のスリーブ(136a)の各筋部に設けてある。各カップ(135a)は、ナット歯車(109a)の歯突として作用するスターラップ(125a)を保護管(110a)に複数回接続するよう取付けてある。外筋の方に向いた凸筋が部分(44)の凹面と対となる球形の心合せ部分(46)は、スリーブ(136a)及び部分(44)の各筋部に設けてある。1実筋としてカップ(135a)が凹入面部(44)と対となる球面形筋部を備えてもよい。

各心合せ部分(46)はねじ(112a)を適したための穴を形成してある。各心合せ部分(46)は、試験材料から作るのが有利であり、スリーブを覆うことのできる被歯板(第5回の座金(38a)について前記したような板)を形成するよう横方向部材により相互に連絡してある。

スリーブ(131a)及び各心合せ部分(46)の組とと共に電動機側は、各部分(44)の凹面の中心を構成する点Bのまわりに回動することができる。

座席背板(38)の各部材にねじ(112a)のようをねじを設

けるのがよい。これ等の2種のねじは、第1回に示したような2種の出力軸を持つ同じ電動機(105)により駆動されるとする。

第4回に示した装置の作用は前記の説明から明らかである。電動機(105)により歯(107a)を一方方向又は他方向に駆動するときは、ねじ(112a)はその軸線の方向に沿い定位する。ねじ(112a)はその軸線のまわりに回らないようにしてある。座席背板(38)はビボット(39)のまわりに回動変位する。この変位にねじ(112a)の軸線と共に、点Bを通り第4回の平面に直交する軸線のまわりの電動機の向きが変る。

ねじ(112a)はナット歯車(109a)のナット(111a)内に保持してあるが、ビボット(39)及び歯(107a)間の平行度の不完全さは、駆動歯(107a)Mに平行な方向に沿うねじ(112a)の遊びにより許容することができる。同様にねじ(112a)及び歯(107a)Mの直交度の不完全さも補償することができる。

第7回には本実用の1実型の一例を示してある。この実型によればねじ(112a)はその軸線に沿うベース(43)に示してない)に對し差動しないよう保持してあるが、駆動歯(205)、そのケーシング(206)及びスターラップ(206a)のよき各スターラップはねじ(212a)の軸線に平行に並進変位ができる。ケーシング(206)は定位させようとする部材たとえば自動車の座席に連結してある。すなわち(212a)は

フタップ(213a)に取付けている。フタップ(213a)の初次き(215a)は上部に向かい開口している。フタップ(213a)は前記したように軸方向船底のまわりに角度の変位の余地を残して取付けである。しかし第7回の変形によればフタップ(212a)は可動のスライドでなくて船底とベースに固定した案内部材(回示しない)に取付けである。

第1回ないし第3回について述べた斜面斜度はこの特許の時と述べた以外の並進変位を抑制するのに使うことができる。すなわち

底面の高さ調整(上昇)

底面の角度調整

ヘッドレストの高さ調整

を制御することができる。

本装置は又パワーウィンド、開閉昇降及び所望によりジャッキの制御に使うこともできる。

第8回は底面の高さを調整する変形を示す。底面の下側には前部及び後部の両側部に、この台と一体でそれぞれピボット(47)、(60)を支える取付具(47)、(48)を設けている。横程直角のペルクランタの形のリンク(51)、(52)の端部は各ピボット(47)、(60)に対応してある。各リンク(51)、(52)は、スライダに對応するビン(63)、(64)に山形の頂部の付近で枢軸してある。各リンク(51)、(52)の下端部は、前記したねじ(12a)と同様なねじ(312a)に各端部に枢軸自在に結合してある。ねじ

(312a)は、各スタイルに對して固定の前記したと同様な底面斜度を具備する。第1回及び第4回の電動機(5)と同様な電動機は底面斜度具のナット(49a)を(回示してない)を駆動する。この底面はその回転によりねじ(312a)が並進運動を生ずる。このようにしてリンク(51)、(52)がそれぞれビン(63)、(64)のまわりに同時に回転するようになる。この回転の方向はフレームに対するねじ(312a)の並進変位の方向による。底面(1)はリンク(51)、(52)の回転方向に従って上昇又は下降する。

全般的な場合に底面斜度は亦可逆性であり、すなわち電動機はナット底面より先頭を駆動するが逆の動作はできない。

第8回の底面の1次部として底面の前部にリンク(51)の代りの上下方向ねじを組合せた底面の上下方向の案内部材と第1回及び第5回について述べたと同様な電動機とを組合せてよい。後部リンク(52)は、底面を角度的に(水平に対する斜度を)調整できるように入れる電動機により駆動される。

前記した説明はナット曲面(9a)を介在させる実施例及び実用にについてのものである。しかし試運転装置のとくに有利な構造がナット曲面(9a)をねじ(12a)に対し斜面しないように保持した場合には運転できるのは明らかである。ナット曲面及びねじの筋歯はこの場合これ等2部品の回転時の結合により確実にできる。

第9回では、案内部材(404a)内で並進変位できるスライダ(403a)に構成した供えの変位を抑制する装置を示してある。この装置はとくに、自動車の底面(回示してない)の変位を制御するのに使う。スライダ(403a)は、とくにスライダ(403a)の種類の位置に設けた丸形の穴(60)により底面の下側に固定してあるが、案内部材(404a)は自動車の床に固定してある。

本初期装置は、すなわちケーシング(406)を持つ電動機(405)を備えている。電動機(405)の軸部は案内部材(404a)に底面斜度として配置してある。一般に電動機(405)第11回に明らかなよう2倍の案内部材(404a)、(404b)(又は同等の部品)の間に配置してある。電動機(405)は各案内部材(404a)、(404b)に底面斜度を向むにした2組の出力軸を備えている。電動機(405)の各軸は一端部にウォーム(408a)〔第10回〕のようなウォーム又は同様の部品を投げてある。このウォームは、電動機(405)の軸の方向に直交する軸部を持つ駆動するナット曲面(409a)を駆動することができる。電動機(405)の駆動軸は、電動機(405)のケーシング(406)に結合し又は結合するようしてした保護管(410a)、(410b)内に配置してある。

ナット曲面(409a)は、第5回に示すようなナット曲面のものである。すなわちナット曲面(409a)はその外面に、ウォーム(408a)のはすばに駆動するごとにできる1組の歯を設けてある。ナット曲面(409a)は直立、ねじ(412a)又

は同様の部材にナットのように嵌めることのできるねじ穴(414a)を備えている。ナット曲面(409a)の歯ねじは、本装置を立てたときに電動機(405)の軸に底面する。

ウォーム(408a)及びナット曲面(409a)から成る部品は、圓周をなして交差する2個の円柱形のメリーピー(430a)、(431a)を持つきっかけナット(426a)を備えた底面斜度用の一部分を構成する。2個のメリーピー(430a)、(431a)の内部空間は、その交差部に對応する穴W(第10回)を介して連通する。隣接した円柱形の外壁を持つきっかけ(430a)は、その2つの軸部内側部が底面斜度を介して(412a)が横切るようしたナット曲面(409a)を受入れるとができる。他方のメリーピー(431a)は、電動機(405)の軸とウォーム(408a)を受入れた後底面斜度(410a)の底部を受入れる。この頂部が前記回示すように保護管(410a)はその前面開口、各メリーピー(430a)、(431a)の交差部に對応する(432a)に備えている。ウォーム(408a)のねじ山は底(432a)を貫いて突出している。

底面斜度は、スライダ(403a)又はベースにより構成した部品の一方に連絡した支持体に備えるメリーピー(426a)用の保持手段Fを備えている。この保持手段Fでは保持手段Fは、自動車の床に構成したフレームに固定した案内部材

この構造では、とくにねじ穴(87)に固定したねじ(86)により組成したピンと協働するように周辺みぞ(85)(第9図)を形成してある。ねじ(86)はこの単位体を組立てるとともにスリーブ(84)の端を半径方向に貫通しみぞ(85)内に突出させる。ねじ(86)は、みぞ(85)の底面に半径方向の反力を加えないで、みぞ(85)内に、みぞ(85)の周縁部に位置する半径方向貫通部に沿って当たがうのに十分な距離だけ突出するだけである。みぞ(85)の船縫方向を左と右により保護管(410b)が船縫方向に直角に移動できる範囲が定まる。

とくに案内部材(404a), (404b)及びスライド(403a), (403b)の間の相互通間隔に生ずることのある不足を調整するよう、保護管(410b)を電動機(405)のモーターシング(406)から成る距離に保持する半径みぞ(88)を設けてある。弹性手段(88)は底面状態で動作するようにしたる巻ばね(88)により構成するのがよい。つる巻ばね(88)は、その一方の側はスリーブ(84)の端部に又他の側は止め片(80)と押しつけられるように保護管(410b)のまわりに組むことができる。止め片(80)はとくに、保護管(410b)に形成した周辺みぞ内に固定した船縫により形成する。

この場合本発明物の位置の付け及び組立ては、前記した所から明らかなように次のようにして行う。

電動機(405)の各出力軸はそれぞれ出力側で保護管(410a), (410b)の各一方に位置させる。各スライド(426a),

(426b)は、スリーブ(431a), (431b)内にはめた保護管(410a), (410b)の端部に取付ける。

ナット面革(409b)のような面革は、他方のスリーブ(426a)内に取付けられ、各面革の外端が穴(424a)を貫いて突出するウォーム(408b)のようなウォームのねじ山と組みあわすようにする。この場合は部品(76)のような飾品をスリーブ(426a), (426b)を組むように位置させ、そして各ねじ(412a), (412b)を対応するナット面革のナットにねじ込む。

ねじ(412a)のようなねじの頭部(75)をピン(77)の底面とは異なる高さ位置に保持し、スライド(426a)のようなスライドを上下方向に對して斜斜するようにする。この単位体は、このように斜斜するスライド(426a)を、二面体の面(64)の下側に導入すると共に、突起(67)を穴(68)内にねじるようにする。保護管(410b)が船縫方向に運動できることにより、スライド(426b)が設けた、突起(67)と同様な突起の位置決めが容易になる。

突起(67)のような各突起を位置決めするときは、ねじ(412a)のようなねじを底面突起(67)の船縫のまわりの船縫により突起させ穴(76)をピン(77)に對向するようにする。

突起(67)の船縫のまわりのねじ(412a)の頭部をねじる運動中に、スリーブ(431a)を突起(67)の船縫のまわりに定位させ、スリーブ(431a)の上部内面形絞分を基(61)に組み入らせる。スリーブ(431a)の頭部を各面革面、案内部材

(404a)の船縫方向に平行に取(61)の各小辺の付近に位置する。スリーブ(431a)の内側部の真ん中面頭と底(61)の各小辺との距離により、スライド(426a)を電動機(405)の船縫方向に定位する位置に保つ。次いでねじ(412a)の船縫とピン(77)の最内側の船縫とを通る平面内のねじ(412a)の船縫運動により、ピン(77)を穴(76)内にねじる。この船縫運動は、互いに協働する複数の船縫間に受けた遊びにより生じさせることができる。次いで突起(75)を弾性の底面(80)及び周平な底面(88)とみぞ(82)内に位置させた船縫(81)とにより組成する。

突起(75)及びピン(77)の間の間隔により組成突起Rを突起状部材(63)及び案内部材(404a)に対して常に組成できる。組成底面R及びスライド(426a)を突起部材(63)から削り切れるようにするには、ピン(77)から突起(76)をはずすことによって開始し、ねじ(412a)を突起(67)の船縫のまわりに定位させ、スリーブ(431a)を底(61)からはずすことが必要である。

底(61)に對しスリーブ(431a)をねじ込み又はナットとは、案内部材(404a)の船縫方向船縫に突起Rの平行な船縫のまわりのわずかな船縫により容易にできる。他方の案内部材(404b)の側の組立て又は取りはずしは前記したと同じ条件のとて行われる。

次つてこの組立ては簡単迅速にとくに有効に行われる。前記した実施例は並進定位を割別する配置に係る。

本発明装置がたとえば自動車の底面の背板の組合を割別するように回転運動を割別するのに使うことができるのは明らかである。この場合ねじの頭部(75)は横力方向船縫のまわりに回転運動する飾品に連結する。このねじ(412a)は組成部品の内側位置に從つて可変の斜斜を生ずる。

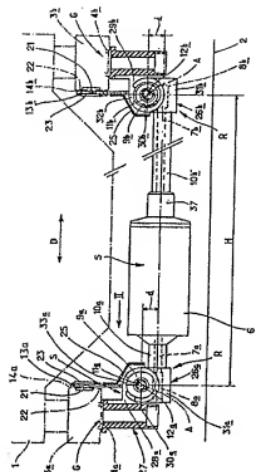


FIG. 1

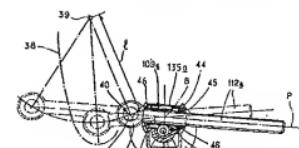


FIG. 4

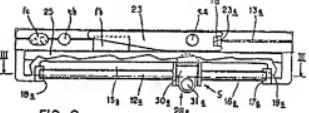


FIG. 2

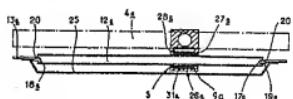


FIG. 3

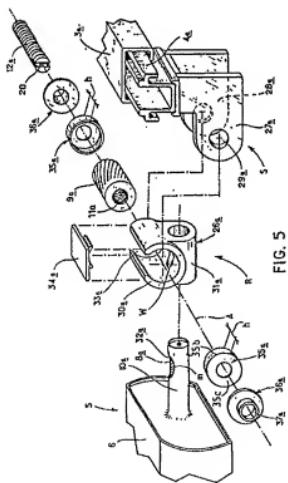


FIG. 5

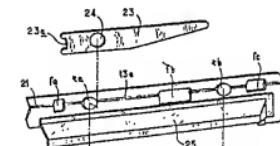


FIG. 6

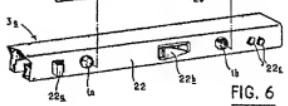


FIG. 6

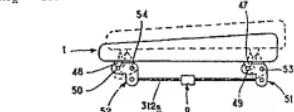
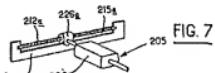
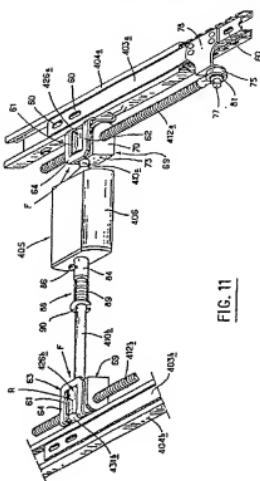
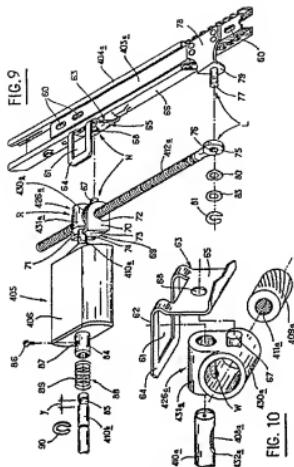


FIG. 8



烟 梅 集 杂 集

ANNEX TO THE INTERNATIONAL SEARCH REPORT CH

INTERNATIONAL APPLICATION NO. PCT/TR 86/00122 (SA 12912)

This Annex lists the patent family members relating to the patent documents cited in the above-mentioned international search report. The numbers are as contained in the European Patent Office PCT file no. 9500104.

The European Patent Office is in no way liable for these particulars which are merely given for the purpose of information.

Patent document in search report	Publication date	Patent family number(s)	Publication date
FR-A- 1165513		None	
DE-A- 1375970	05/10/73	361287	29/10/73
DE-A- 2072084	05/10/81	732-A 2072084	05/10/81
DE-A- 2113460		DE-A- 2113460	24/12/81
US-A- 3487093	05/12/73	None	
US-C- 1525324		None	
US-A- 3113460		None	

For more details about this Annex 1
see Official Journal of the European Patent Office, No. 12/82